

川崎市都市計画公聴会
(新ゆりグリーンタウン一団地の住宅施設)

公述意見の要旨と市の考え方

平成21年8月

公述意見の要旨と市の考え方

1 都市計画案の種類、名称及び土地の区域

(1) 種類及び名称

川崎都市計画一団地の住宅施設の変更（新ゆりグリーンタウン一団地の住宅施設）

(2) 土地の区域

川崎市 麻生区 白山1丁目、白山2丁目、白山3丁目、白山4丁目及び白山5丁目地内

2 公聴会の開催の日時及び場所

(1) 日時 平成21年8月1日（土）午前10時から午前10時20分まで

(2) 場所 旧 川崎市立白山小学校 体育館

3 公述意見の要旨及び市の考え方

公述人	公述意見の要旨と市の考え方
A 公述人	別 紙 No. 1～No. 2
B 公述人	別 紙 No. 3～No. 4

	公述意見の要旨	市の考え方
A 公述人	市の施策である白山小中学校の統合については、新ゆりグリーンタウンの住民同意のもと実現されているが、住民側は、児童、生徒の通学路が遠くなるなど、相応の犠牲を払い市に協力を行ってきている。大学の設置にあたっては、既存の住民が払った犠牲を忘れずに、登下校時の人的混雑について、改善・解決に向けて協力願いたい。	白山小学校跡地の活用につきましては、これまで、新ゆりグリーンタウン代表者をはじめ、周辺町内会長などで構成する地域協議会を中心に協議を重ね、日本映画大学を設置する活用計画を平成21年1月にとりまとめております。 この度の都市計画手続きにつきましては、活用計画に沿って、教育施設としての大学が導入可能となる公益的施設の配置の方針の変更に関する素案をお示しし、御意見を伺ったところでございます。 いただいた御意見につきましては、日本映画大学の事業に関連する内容が含まれることから、以下、川崎市の基本的な考え方について、お示しいたします。 【基本的な考え方】 日本映画大学の構想における学生数等につきましては、平成23年4月の白山キャンパス開校時には学生数140名程度、4年後の平成27年には、新百合ヶ丘駅前キャンパスとあわせ全体で680名程度（学生、教員数）と伺っております。そのうち白山キャンパスは、1、2年次及び3年次は前期までの利用となることから、前期は500名程度、後期は330名程度（学生、教員数）が通勤・通学するものと伺っております。 今後、文部科学省との認可に関わる協議の中で、学生数や通行量等も具体的になってまいりますことから、学校法人、川崎市、新ゆりグリーンタウンをはじめとする周辺町内会など地域の方々との協議の場を設け、情報提供・協議を行いながら、学生数等を含めた事業計画をとりまとめてまいります。 その上で、事業計画が十分担保できるよう、学校法人と川崎市の間で覚書等を締結し、事業実施に向けた取組を進めてまいります。 こうした基本的な考え方をもとに、それぞれの御意見に対する市の考え方をお示しいたします。 大学の設置にともなう登下校時の交通処理につきましては、基本的に、現在整備されている道路や交通機関により対応は可能であると考えております。 なお、通学時の混雑等の緩和に向けた対応につきましては、一定時間や曜日に学生が集中しないようなカリキュラムの時間割の工夫や、通学時のマナーに関する指導徹底など、学校法人へ要請し、地域の交通安全に十分配慮した取組を進めてまいります。

	公述意見の要旨	市の考え方
A 公述人	通行量を下記の項目により把握（予測）して頂きたい。 ① 大学へ登下校する学生・教職員の時間帯別人数 ② 開校から経年による人数の変化 ③ 大学の活動として出て来るイベント（行事）実施時の参加者人数及び外部の人の参画を前提とする催し物への時間帯別参加者人数 大学への登下校及び第三者の来訪にあたっては、自動車及び自転車の使用は禁止し、全員が公共交通機関を使用するか、徒歩であることが必要と考えます。 なお、自動車・自転車通勤・通学の全面禁止が決まらない場合は通行者の安全確保問題が解決されるまで、都市計画案の検討は一時棚上げとして頂きたい。 15台の駐車場及び100台の駐輪場は建設する必要が無くなります。 公共交通機関への増便要請、及び、グリーンタウン建設時とは変わる交通量及び人の流れ線に対する警察交通関係部署からの意見聴取とその意見の都市計画への反映については、グリーンタウンの住民の参画を前提として、コーディネート業務は川崎市が行って欲しい。 グラウンド及び体育館については、白山小学校時代の延長線上で開放していただくことを川崎市の仲介の基で約定しておくことが、望ましいと考えます。	時間帯別や経年変化による通行量につきましては、基本的な考え方をもとに、今後、学校法人による文部科学省との協議を進める中で、学生数等が具体的にになった段階で通行量やその推移等を把握し、地域の方々への情報提供・協議を行ってまいります。 自動車での通学・通勤につきましては、障害をもつ方など特別なケースを除き禁止するものとします。また、安全講習や登録制など一定の条件のもと、大学近隣に下宿する一部の学生に限り自転車通学を行うものと伺っております。 駐車場につきましては、前記の特別なケースとともに、主に学校活動に必要な機材搬入などの使用を予定しているものと伺っております。また、駐輪場の100台につきましては、学生が全てを利用するものではなく、地域の方々とのイベント・交流などを予定しており、周辺道路への放置が懸念されるため、地域に配慮し一定余裕をもった計画としているところでございますが、今後、地域の方々の御意見・御要望も踏まえ、必要台数について協議してまいります。 公共交通機関及び交通管理者との調整につきましては、基本的な考え方をもとに、学生数なども、学校法人が文部科学省との協議を進める中での確認事項として具体的にになってまいりますので、通学時の状況などについて関係機関からの意見聴取も行い、地域の方々への情報提供・協議を行ってまいります。 グラウンド及び体育館の地域開放につきましては、安全性の確保や適正な管理運営を十分考慮した上で、大学の教育、学校行事等に支障のない範囲において、できるかぎり開放を行うこととなっております。 今後、川崎市と協定を締結するとともに、地域での開放運営組織等を設置していただき、十分協議を進めながら、具体的な利用に関するルール等を定め、地域との協調による取組を進めてまいります。

	公述意見の要旨	市の考え方
B 公述人	この度の都市計画変更素案は、小学校、中学校という具体的表記から、「学校、図書館その他これらに類するもの」と改められました。これは、今後の利用変更に備えるために必要な改定で異論はありません。 しかし、参考資料とされた「白山小学校跡地活用計画」の方が、隣接住民には大きな影響が考えられます。 子どもの徒歩通学前提の通学路設定と利用状況が変わるからこそ、道路計画の見直しが必要です。駅前キャンパスとの移動に青年が自転車利用すれば、道路の危険は増大します。自転車レーンが必要です。 特に白山西緑地の坂が危険です。緑地内に 50 センチ幅にせんでい枝チップを敷詰めた歩道を新設してください。歩道幅のあるところは車道側をペイントすると自転車レーンに転用可能です。 道路項目に自転車レーンを設け、歩行者の安全を図ってください。	白山小学校跡地の活用につきましては、これまで、新ゆりグリーンタウン代表者をはじめ、周辺町内会長などで構成する地域協議会を中心に協議を重ね、日本映画大学を設置する活用計画を平成 21 年 1 月にとりまとめております。 この度の都市計画手続きにつきましては、活用計画に沿って、教育施設としての大学が導入可能となる公益的施設の配置の方針の変更に関する素案をお示しし、御意見を伺ったところでございます。 いただいた御意見につきましては、日本映画大学の事業に関連する内容が含まれることから、以下、川崎市の基本的な考え方について、お示いたします。 【基本的な考え方】 日本映画大学の構想における学生数等につきましては、平成 23 年 4 月の白山キャンパス開校時には学生数 140 名程度、4 年後の平成 27 年には、新百合ヶ丘駅前キャンパスとあわせ全体で 680 名程度（学生、教員数）と伺っております。そのうち白山キャンパスは、1、2 年次及び 3 年次は前期までの利用となることから、前期は 500 名程度、後期は 330 名程度（学生、教員数）が通勤・通学するものと伺っております。 今後、文部科学省との認可に関わる協議の中で、学生数や通行量等も具体的になってまいりますことから、学校法人、川崎市、新ゆりグリーンタウンをはじめとする周辺町内会など地域の方々との協議の場を設け、情報提供・協議を行いながら、学生数等を含めた事業計画をとりまとめてまいります。 その上で、事業計画が十分担保できるよう、学校法人と川崎市の間で覚書等を締結し、事業実施に向けた取組を進めてまいります。 こうした基本的な考え方をもとに、それぞれの御意見に対する市の考え方をお示いたします。 大学の設置にともなう登下校時の交通処理につきましては、基本的に、現在整備されている道路や交通機関により対応は可能であると考えております。 当該道路は、車道が幅員 7m、両側の歩道はそれぞれ 2.5m（全幅 12m）の道路となっており、自転車は原則として車道を通行することとなります。今後、新たに自転車レーンを確保する場合、既存の道路を拡幅する必要が生じるため、物理的に困難であることから、道路に関する配置の方針は現行のままといたしました。

	公述意見の要旨	市の考え方
B 公述人		また、緑地内の歩道の新設についてですが、御提案いただいたせんてい枝チップの敷詰めは、当該地の幅が狭く周辺道路への飛散、傾斜による降雨時の流出が懸念されることや特別なメンテナンスを要するなどの管理上の課題が多いことから、御要望の主旨に沿うことは難しいと考えますが、いただいた御意見を参考に歩行者のより安全な通行への配慮などの観点から、当該緑地を歩行者が御利用いただけるような管理方法について検討してまいりたいと存じます。 なお、日本映画学校の通学時における自転車利用は、近隣に下宿する一部の学生に限られると伺っておりますが、より一層の安全方策として、安全講習の実施や、自転車利用時のマナーに関する指導徹底などを学校法人へ要請するとともに、新ゆりグリーンタウンをはじめとする周辺町内会など地域の方々の御意見等も踏まえながら、地域の交通安全に十分配慮した取組を進めてまいります。